

## 肺炎球菌（23 価肺炎球菌多糖体ワクチン）

### 【症状】

肺炎球菌は子どもの多くが鼻の奥に保菌していて、細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、副鼻腔炎、中耳炎といった病気を起こします。肺炎球菌による化膿性髄膜炎は年間 150 人前後が発症しています。

肺炎の起炎菌として重要であり、慢性気道感染症、中耳炎、副鼻腔炎、敗血症、髄膜炎などの原因ともなります。また、肺炎球菌による細菌性髄膜炎の発症もあります。

### 【ワクチンの種類】

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌感染症で高頻度に認められる肺炎球菌を型別に培養し殺菌後に抽出精製したものです。

### 【副反応】

局所症状（接種部位）として、疼痛、圧痛、熱感、腫脹、発赤、全身症状として、発熱、無力症、筋肉痛などがあります。

また、極めて稀ですが、重い副反応として、ショック、アナフィラキシー様症状（血管浮腫、全身にひどいじんましん、呼吸困難など）、けいれんがあらわれることがあります。